

20 大事 第135号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

大川村長 合 田 司



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のあった標記の件につき、
別添提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県大川村

- 四国の道路整備は、四国を8の字で結ぶ高速道路整備が主要な事業となっており、市町村では、電車やバス等の公共交通機関が少なく、高齢者を含む地域住民が病院等に通うにも車の移動が欠かれない生活に必要な道路整備は、まだまだ不十分であり、必要である。
- 道路整備に際して、現行の費用便益分析には、地方独自の評価としまして、高知県の通行規制解消や、救急救命上昇等の便益が加えられるべきである。

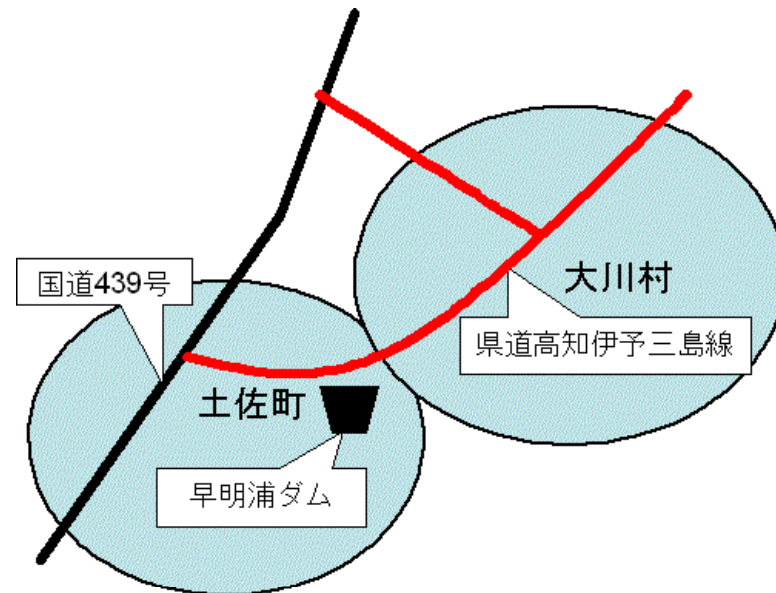
今後の道路行政についての意見・提案
②－１地域の現状と抱える課題

高知県大川村

○現状

大川村の主要な産業は、農・畜・林業で、木材の輸送や、村民の日常生活に、県道が重要な道路である。

図-1 大川村の幹線道路網



○課題

村内の幹線道路である県道は、早明浦ダムの工事の際に設置された道路であり、急なカーブが多く、見通しが悪い上、異常気象時には土砂崩れや落石により、通行止めが頻繁に発生する。

そこで、救急車両の搬送時間に時間を要し、村民の救命救急活動が満足に出来ない等、村民の安心・安全な生活に支障をきたしている。

また、村道も同様に脆弱で災害時には、通行止めが、たびたび発生し、村民は、集落まで、長時間かけ、迂回を余儀なくされている。

写真-1 急カーブが多く救急活動も困難な主要県道



写真-2 土砂崩れや落石による通行止めが頻繁に発生する村道



今後の道路行政についての意見・提案

②－② 地域の目指すべき将来像

高知県大川村

○ 村の将来像

高齢化・過疎化が進展する中、村では、「四国のみずがめ」早明浦ダム周辺の景観や「ドングリ銀行事業」をはじめとする、「森づくり」等、環境をテーマに、四国内はもとより、関東方面からの来訪者があり、観光交流人口の増加を目指す。

写真-3 早明浦ダム周辺（旧大川村役場）



○ 広域幹線軸としての道路

村の農・畜・林産品の輸送や県内・四国内・外の来訪者のための道路として、高知自動車道を広域幹線道路として位置付け。

○ 生活軸としての道路

円滑な地域内交流を支える、村内を通過する県道や村道を生活軸として位置付け。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

高知県大川村

○ 重点事項 (2) 地域活力の向上 (5) 災害に強い国土づくり	○ 代表事例 県道高知伊予三島線 〃	○ 期待する効果や評価等 ・ 隣接市町村との交流 ・ 救命救急医療活動の向上 ・ 異常気象時の通行規制の解消	○ その他
---	--------------------------------------	---	--------------